阿Q夏の特別企画 ∧参観無料∨ シーサイド☆エレキで夕べまえ♡

夏は、ジーッとしていられない。ギラギラと照りつける太陽は肌を灼き、血液をも濃くする。夏になると海へ山へと行きたくなるのは夏がひとの動物としての本能を呼び覚ますからかもしれない。大都会のコンクリートジャングルの喧騒を離れ、野を駆け海を泳ぐひとの祖先としての獣や魚に化けるのだ。

そこで阿Qはこの夏、浜辺で演奏する。それもビーチボーイズのノリで、砂浜にアンプをポンと置いて、ジャマイカ気分でシャラなライヴ。勿論参観無料だ。海水浴で阿Qライヴとは一挙両得、二兎を追う者一兎も得ず、これはなかなかない機会だ。

しかも西瓜割りや宝探しなど企画も盛り沢山。きっと楽しい一日になること間違いなしだ。

出演バンドを紹介しよう。

1 魅惑のダンスバンド阿Q
2 80's エクスプレス
3 ジ・オマンチツ
4 あっちもこっちも デンジャラスバンド
5 バッド・ジョーカー
6 サイクリング北京 他数組
7 ［　　］という豪華ナインナップ。

当日、雲ひとつない晴天を祈り、照照坊主を軒下に吊るそう。

∧場所∨ 深沼海水浴場（仙台駅前よりバスあり）

∧時間∨ 午前十時より午後四時まで

∧参加費∨ 大人一人千円（小学生以下無料）

∧申込先∨ 阿Q芸能係まで

課題「私と阿Q」

阿Q「大公報」では豪華懸賞つき作文を募集する。テーマは「私と阿Q」だ。要綱は下の通りなので、みんな夏休みを利用して、素晴らしい作文を送ってもらいたい。

審査員は阿Qのメンバー。「自殺しそだった自分が阿Qで救われた」とか「阿Qフリークになって友達が増えた」なんてノリの作文を期待している。

作文大募集

《賞品》①九月二六日ライヴ招待券を五名様（最優秀作品は大公報に掲載）②阿Q色紙を十名様③阿Q生写真を十五名様

《字数》四百字詰原稿用紙三枚以内（縦書き厳守）

《〆切》八月　日（消印有効）

《送り先》阿Q通信公司文書室・大公報編集部・懸賞作文係マデ

大鉄の窓

原稿がくとにおにあわなかったケーサイときました。
次号にはもうかしこいページをとって載せたい。
ゴメンナサイ！

雨の場合は8月11日（木）8月5日（水） 仙台深沼海水浴場

前回述べたように、「芸能」とは非日常の催しだった。日常の生活場に異邦から異様な芸がやってきたのだ。それは人と限らず、鬼や福ノ神だったりもする。年に一度の祭り、節分、晦日などの節目で、人々は非日常「ハレ」（注）の芸に接して日常を超越してしまう。カーニバルである。

この「ハレ」は既成の道徳や秩序、法律など俗世の約束事などが通用しない。祭りで無礼講となるのはその為である。だから古来、芸人は——歌舞伎役者から絵かきまで——日常のモラルを要求されもしないし、それに拘束されることなく存在していた。

例えば作家なら素晴らしき物語を綴ることさえ可能なら他は全て免除されたのである。普通の男に泥棒や男娼という過去があれば社会から迫害視されるがジュネなら許されたように。

この超法規の世界が芸道なのだ。芸人の住む世界は俗世とは離れた異邦であり芸人は鬼神と交信しつつハレの世界を日常の人々に享受したのである。

この「芸能」の系譜は現代にまで伝わる。コンサートに来て、日常の感度のままでいる客は少ない。ボルテージが上昇して「ノル」

阿Q鬼芸能（下）

時代でも人々の日常感性をハイな状態にしてくれる芸能が受けたのである。

昨今の芸能に目を転じると、芸においてタレントの多い。つまりハレを感じさせるような芸がない。日常の延長で、どこにでもいる女の子がスタアになってしまう。それでもアイドルのコンサートで観衆はハレになっているのだから、あれも「芸能」なのかもしれない。

とにかく、二回に亙って述べたように、芸能とはこのようにハレの演技であり芸人とはハレの伝導師なのである。だから桂春団治は「♪芸のためならァ女房も泣かすぅ」ことがヨシとされた。芸人ってもんはな、遊ぶんなら他人様よか山ほど苦しいほど遊ばにゃいかんのんとちゃいまっかぁ。

（注）このような非日常の精神レベルを「ハレ」という。天気が良いハレはこれに由来するし、晴れ着、晴れ姿などアッパレ、素晴らしいが「ハレ」である。

わけだ。これはロックばかりではない。クラシック音楽など現代人は「落ち着いた」音楽に思うが、当時の人々にとってモーツァルトの交響曲はロックだった。どの

〔通信公司より③〕 8月5日の深沼海岸ライヴでは熱心な阿Qフリークがお弁当持参で来ることを阿Q一同期待しています。なお水筒には水、麦茶（ジュースは禁止しますがレモン水は認めます）を。小遣いは往復の交通費の他1000円まで。阿Qフリークらしい節度ある態度で演奏を鑑賞するよう先生は期待します。

〔読者心得③〕「阿Q・鬼・芸能」は「大公報」第九号に（上）を載せたっきりになっていたが、ごく一部の読者に好評で、やっと続編を（★）

（お詫び）大公報のバックナンバーが欲しいとか、友達にも大公報を配りたいとか、阿Q広報活動に熱心な連絡を受け、阿Qは大変感謝して（♡）

（★）掲載。何かというと悪者にされてばかりいる鬼だが、右と左は鏡に映せば逆になるもの。鬼とは可愛そうな存在なのである。

次のワンマン決定！

四度目の仙台FORUSモーニングムーンスタジオ

九月二六日（土）

十八時開場　十八時三十分開演　全席自由　壱阡圓也

三百名限定

昨年の十月五日以来、恒例となった仙台FORUSモーニングムーンスタジオでの阿Qワンマンショウ。二月十三日「太平天国の旅」、五月二五日「阿Qの春」に続いて、四回目は「アジアの仲間たち」。この一年の成果を踏まえ、今回はこれまでとはチョット違った演出を計画中。当日まで発表しないが、踊りやすい服装で来場するってわけだ。夏のツアーを終えた阿Qがどう変わるか楽しみだ。

早いものでモーニングムーンでのワンマンもこの秋でちょうど一年、四回目となる。嬉しいことに参観者も回を重ねるごとに増え続けた。阿Qとしても、「前回のほうが良かった」などと言われぬよう、嗜好を凝らし新曲も披露してきた。この成功の原因は、やはり太平天国国民による友人知人への強力な参観券販売なのだ。一人で何枚も売ってくれて、おまけに「あまり売れなくてゴメンナサイ」と謝られ、阿Qは御礼のしようがない。

今回はモーニングムーンスタジオ開設以来初の大胆なライヴ形式を考えている。下記の「正しい阿Q参観の仕方」を参照して踊りまくっていただきたい。

太平天国国民へ！

毎回大変申し訳ないが、この「アジアの仲間たち」でも参観券の販売運動に協力していただきたい。今回も売れ残って問題のない五枚一組だ。勝手ながら参観券と「参観券販売依頼書」を同封させてもらっている国民は頑張ってほしい。勿論、恒例となった「確認ゴーゴーテレホン」が八月末からはいると思うので、ヨロシク。問合せは遠慮なく阿Q通信公司まで。

正しい阿Qの鑑賞の仕方

まず踊りやすい軽装がポイントだ。安全ピンやカミソリは踊るのに大変危険だから避けたい。また、髪を洗濯糊や砂糖水でツンツンにしていると汗をかいた時に顔がベトベトになってしまい不快になる。かといって白黒のタンクトップに短パンで、ウエストバックも要注意。あれを腰に巻いてモンキーを踊っていると、まるで越後獅子だ。

そして阿Qの演奏会場に入ったら、まず腰の力を抜こう。そして手足を無筋状態におく。小学生の頃、疲れた時に「フニャ～」とか言って昆布のようにクネクネと座りこんだことがあるだろう。あのノリの脱力感だ。次に両手を挙げてほしい。といっても、オリムピックの一〇〇米走で優勝したのではないから、あくまでクネッとである。ちょうどオリバー君が人間に両手を吊られている雰囲気がいい。

さぁ、これで準備万端。ただし、この姿勢をとるのは阿Qの演奏が始まってからでいい。会場へ入るなりこのポーズでいたらヨネヤママコと勘違いされるのがオチだ。

いよいよ演奏開始。阿Qには「ハードルンバ」という独特の踊りがあるが、これはイタッテ簡単。クネッとした姿勢で両手を宙に舞わせ、首を振り振り腰をビートにあわせて廻し、足はルンバのステップを踏めばいい。顔の表情は恍惚、半開きの唇がセクシーならなおいい。

8ビートに慣れていると16ビートは難しいようだが一昨年まで横田基地で米軍兵相手にボサノバやサルサを教えてきたダイアナ鈴木本名・鈴木やゑ　さんによると、「ブラックビートなんて気負うからノーグッドなのね。人間がね、胎内にいる時に耳にした母親の心臓の鼓動、あれがビートなのよ。その音をリメンバーしてみて、ほら、聞こえるでしょ。そして、もっと耳を澄ますと、そのドクッていうワンビートが、クォーターッ……あ、ソーリー……¼に刻まれてるのがわからない？　それが16ビートなのよ。右心室、左心室、右心房、左心房の鼓動が伝わってきて、神のソウルが血に混じってミーのボディを走り巡るの……。あーっ来た……来たわっ、ミーを狂わす愛しいエンジェル」ということである。キミもダイアナさんのように自然に身体をビートに任せよう

（♡）おります。しかし、在庫はわずか各号とも数部という状況で、毎号二千部刷ってますがライヴ等で配付して余りがない有り様。（次頁へ）

参観券は仙台市内のPGで発売中

アジアの仲間たち

〔通信公司より④〕 夏休みは、なにかと遠出する機会が多い。遠くに住むイトコはもちろん、旅先のユースホステルで知り合った旅人にも、3年も文通して初めて対面するペンパルにも阿Qを勧めよう。特に阿Qの知名度がまだまだの東京以西で阿Q紹介をしてもらえると阿Qは大変あり難い。